

## 第65回北海道総合保健医療協議会総会 議事録

と き 令和4年5月24日(火) 16:00～16:30

ところ TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前 ホール5C

(総務課 竹内政策調整担当課長)

ただ今から、第65回北海道総合保健医療協議会を開催いたします。

本協議会の庶務を担当いたします、道庁保健福祉部総務課の竹内でございます。よろしくお願いいたします。

開会に当たりまして、京谷保健福祉部長よりご挨拶を申し上げます。

(京谷保健福祉部長)

北海道保健福祉部長の京谷でございます。

本日、リモートということで、座ったままでご挨拶させていただきます。

開催に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様には、大変お忙しい中、ご出席をいただき、厚くお礼申し上げますとともに、日頃から、本道の保健医療福祉の充実、道民生活の向上にご尽力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

特に、新型コロナウイルス感染症への対応に当たりましては、それぞれのお立場で、長期にわたって並々ならぬご尽力をいただいております、重ねて感謝申し上げます。

道内の新型コロナウイルス感染症につきましては、ここ数日は減少してきたとはいえ、ゴールデンウィーク後も高い水準で推移しております、人の流れも活発になりつつある中、予断を許さない状況にある、というふうに認識をしております。

道では、これまでも、保健所機能の充実や検査体制の整備を進めますとともに、関係団体の皆様のご協力のもと、検査・医療提供体制の確保やワクチン接種等、様々な対策に取り組んでいるところでありまして、今後も、ウイルスの特性や感染状況に応じた対策を進めてまいりますので、皆様方には、引き続き、お力添えをいただきますようお願いを申し上げます。

また、コロナ禍にありましても、人口減少や高齢化が進行しております、このことも道民の皆様方が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができる社会を維持していく上では、地域の実情に応じた医療や介護の提供基盤づくりなどの、地域包括ケアを着実に進めていくこと、また、医療を支える人材の育成や確保、広大な北海道の地域特性を踏まえた医療の提供体制を構築していくことなどが不可欠であるというように考えておりますので、この協議会におきましても、引き続き、議論を深めていただきますようお願いを申し上げます。

本日は、昨年度の協議状況をご報告いたしますとともに、本年度における取組等についてご議論いただく予定としております。委員の皆様には、それぞれご専門のお立場から忌憚のないご意見、ご提言をいただきますようお願い申し上げます。

また、今後とも、本道の保健医療福祉の一層の充実に向けまして、ご支援を賜りますよう、最後にお願ひ申し上げ、開会に当たっての挨拶といたします。

本日はよろしくお願ひ申し上げます。

(総務課 竹内政策調整担当課長)

続きまして、松家会長からご挨拶をお願いいたします。

(松家会長)

第65回北海道総合保健医療協議会総会の開催に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

本協議会は、昭和52年に設置され、これまで、保健医療対策の推進に関する重要な協議の場として、皆様から大変貴重なご意見をいただきながら、本道の保健医療の確保と福祉の向上に大きな役割を果たしてきたところであります。

京谷部長のごあいさつにもありましたように、本道の保健医療福祉に関する課題は、少子高齢化をはじめ、医療を支える人材の育成や確保、医療資源の偏在が著しい北海道の地域特性を踏まえた周産期・救急医療体制の構築などといった地域医療の充実に加え、今般の新型コロナウイルス感染症といった新興感染症への対策など多岐にわたっており、それぞれの課題に応じた効果的な対策を講じるため、本協議会が果たすべき役割は、ますます重要になっていると考えております。

保健医療福祉サービスは、道民生活に密着し、欠かすことのできないものであり、どのような社会環境にあってもしっかりと確保しなければならないものであります。

この協議会では、道民の立場に立って、より質の高い保健医療サービスが効果的に提供され、かつ多様化するニーズにも柔軟に対応できるよう、長期的かつ総合的な視点から、議論を行っていくことが、重要と考えております。

本日の総会以降、各専門委員会等において、具体的な協議をお願いすることとなりますが、各委員の皆様には、活発なご意見、ご発言をいただくことをお願い申し上げ、開会にあたっての私からのごあいさつといたします。

本日はよろしくお願ひいたします。

(総務課 竹内政策調整担当課長)

ありがとうございます。

それでは、議事に入ります前に、会議を進めるにあたりまして、連絡事項がございます。

本日オンラインでご参加いただいております委員の皆様方には、ご発言時以外はマイクをミュートにさせていただきますよう、お願ひいたします。

また、ご発言の際は、Zoomサービス内の下段、リアクションボタンの中にある「手を挙げる」ボタンをクリックいただきまして、こちらから指名の後、ご発言をお願いいたします。

その際は、マイクのミュートボタンを解除いただきまして、ご発言終了後、再度ミュートにさせていただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

続きまして、本日の会議資料の確認をさせていただきます。

会議次第、出席者名簿、配席図、資料1「令和3年度(2021年度)各専門委員会の協議状況」、資料2「専門委員会委員の指名について(各専門委員会委員名簿)」、資料3「令和4年度(2022年度)各専門委員会協議予定(案)」、そして最後に、参考資料といたしまして「北海道総合保健医療

協議会設置要綱」となっております。

次に、昨年10月に書面で開催しました総会以降、本日までの間に、3名の委員に交代がありましたので、ご報告させていただきます。

北海道大学医学部の西浦（にしうら）委員に代わりまして、上田 佳代（うえだ かよ）委員、北海道厚生局の桑島（くわしま）委員に代わりまして、中山 剛（なかやま こう）委員、北海道警察本部の尾辻（おつじ）委員に代わりまして、奥村 耕治（おくむら こうじ）委員となっておりますので、ご報告いたします。

それでは、今後の進行は松家会長にお願いいたします。

（松家会長）

では、早速、お手元に配布しております会議次第により、会議を取り進めさせていただきます。

それでは、「令和3年度（2021年度）各専門委員会協議状況について」資料1により、各委員会の委員長又は代表される委員の方から報告をお願いいたします。

また、報告に関してのご質問、ご意見につきましては、全ての専門委員会からの報告が終了しました後にお受けしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、まず、「救急医療専門委員会」から報告をお願いいたします。

（北海道医師会 青木委員）

北海道医師会常任理事の青木です。

救急医療専門委員会について、ご報告させていただきます。

また、専門委員会には、救急医療機関の認定に係る審査を行う救急告示医療機関審査小委員会と、北海道救急医療・広域災害情報システムの円滑な運用について検討を行う救急医療情報システム検討ワーキンググループを設置しておりますので、これらにつきましても、あわせてご報告させていただきます。

はじめに、お手元の資料1の1ページをご覧ください。

まず、「救急医療専門委員会の協議状況」について、令和3年度は2回開催しております。

次に、2ページをご覧ください。

具体的な協議状況について、ご説明させていただきます。

議題は4つでございます。

まず1つ目、北海道医療計画の推進状況及び評価等についてであります。第1回（7月）に、現行の医療計画の中間見直しに伴い、救急医療体制、災害医療体制、小児救急医療体制についてご報告いたしました。

2つ目、救急医療体制の整備についてであります。第1回に、平成29年度から実施しております、メディカルウイングの搬送要請、搬送件数等について、また、ドクターヘリ事業に係る運航状況について、さらに、令和元年度北海道消防防災ヘリコプターによる航空機搬送事案に係る事後検証結果について、ご報告いたしました。

また、第1回及び第2回（11月）には、北海道大学病院の救命救急センター指定についてご報告及びご協議をいただきました。

3つ目、小児救急医療体制の整備についてであります。第1回に、小児救急医療体制の実施状況について、また、小児救急電話相談事業の実績及び実施状況について、ご報告いたしました。

4つ目、災害医療体制の整備についてであります。第1回に、北海道DMA T等検討ワーキンググループの検討状況について、第2回に、SCU（広域搬送拠点臨時医療施設）の設置状況について、ご報告いたしました。

以上が、救急医療専門委員会の昨年度における協議実施状況でございます。

続きまして、3ページをご覧ください。

救急医療専門委員会の小委員会である救急告示医療機関審査小委員会についてご説明いたします。

こちらは昨年度1回、書面にて開催しております。

具体的な協議内容は、4ページをご覧ください。

救急告示医療機関審査小委員会については、昨年9月、救急告示の医療機関について、ご審査いただいております。

最後に、資料はございませんが、救急医療情報システム検討ワーキンググループについては、システムの運営状況等で特に大きな課題がなかったことから令和3年度は、開催しておりません。

救急告示医療機関審査小委員会などにおける昨年度の協議実施状況についての説明は、以上でございます。

(松家会長)

ありがとうございました。

次に、「地域医療専門委員会」から報告をお願いいたします。

(北海道医師会 佐古委員)

北海道医師会の佐古でございます。

地域医療専門委員会の令和3年度の協議状況につきまして、報告させていただきます。

地域医療専門委員会には、看護対策小委員会、周産期・小児医療検討委員会、医療施設整備等検討委員会、在宅医療小委員会の4つの小委員会を設置しておりますので、併せて報告させていただきます。

はじめに、資料1の5ページをご覧ください。

地域医療専門委員会は、委員17名と臨時委員6名の計23名で、3回開催しております。

次のページをご覧ください。

具体的な協議状況ですが、地域医療構想については、各圏域における地域医療構想調整会議の開催状況を共有しながら、構想の推進に向けた協議を行いました。

次に、北海道地域医療介護総合確保基金を活用して実施する事業を取りまとめた北海道計画については、令和3年度分及び令和4年度分の事業内容の協議を行いました。

次に、過疎法の見直しに基づき、道におけるへき地医療拠点病院の指定の考え方について、協議を行いました。

次に、小委員会における協議状況について説明いたしますので、7ページをご覧ください。

はじめに、看護対策小委員会ですが、当委員会では、水谷委員を委員長として、委員5名と臨時

委員6名の計11名で、3回開催し、道立江差高等看護学院を巡る諸問題への対応について協議を行いました。

次に、9ページをご覧ください。

周産期・小児医療検討委員会ですが、当委員会では、齋藤委員を委員長として、委員6名と臨時委員11名の計17名で、1回開催し、北海道医療計画の実施状況のほか、総合周産期母子医療センターの指定及び地域周産期母子医療センター認定要領の一部改正について協議を行いました。

次、11ページをご覧ください。

医療施設整備等検討委員会ですが、当委員会では、笹本委員を委員長として、委員4名で、2回開催し、医療提供体制施設等整備事業に関して、令和元年度と令和2年度事業の事後的評価、令和3年度の国の交付金の内示額について報告したほか、令和4年度の事業計画における事業の優先順位などについて協議を行いました。

最後に、13ページをご覧ください。

在宅医療小委員会ですが、当委員会では、藤原委員を委員長として、委員4名と臨時委員12名の計16名で、2回開催し、北海道の在宅医療の現状と取組についてのほか、北海道医療計画（在宅医療提供部分）の推進状況及び評価や北海道在宅医療推進支援センターの活動について、協議を行いました。

以上、簡単ではございますが、「地域医療専門委員会」の令和3年度の報告とさせていただきます。

(松家会長)

ありがとうございました。

次に、「地域保健専門委員会」から報告をお願いいたします。

(北海道医師会 藤原委員)

北海道医師会の副会長の藤原でございます。

令和3年度の地域保健専門委員会の協議状況について、ご報告いたします。

資料1の15ページをご覧ください。

地域保健専門委員会では、がんや循環器疾患の医療連携体制の構築など、地域保健にかかわる事項について協議を行っております。令和3年度の専門委員会は、書面開催も含め、3回開催しております。

資料16ページをご覧ください。

協議内容について、検討事項の1つ目として、本道のがん診療体制の整備について、国のがん診療連携拠点病院として、更新2病院の推薦を確認しました。

また、北海道がん診療連携指定病院について、新規1病院、更新5病院を指定することを確認しました。

2つ目として、北海道医療計画の「がんの医療提供体制」について、進捗状況や、指標の達成状況等を踏まえた評価案について協議いたしました。

3つ目として、北海道がん対策推進計画中間評価について、計画の進捗状況や中間評価について

協議いたしました。

次に、地域保健専門委員会に設置している小委員会について協議状況を報告いたします。

資料17ページをご覧ください。

「循環器疾患対策小委員会」について、令和3年度は、WEB開催で3回開催しております。

協議内容については、資料18ページをご覧ください。

検討事項の1つ目として、北海道医療計画の「脳卒中・急性心筋梗塞等の心血管疾患の医療連携体制」について、進捗状況の年次評価について協議いたしました。

2つ目として、北海道循環器病対策推進計画について、策定スケジュールや計画案について協議いたしました。

資料19ページをご覧ください。

糖尿病対策小委員会について、令和3年度は、書面開催も含め、3回開催しております。

協議内容については、資料20ページをご覧ください。

検討事項の1つ目として、北海道医療計画の「糖尿病の医療連携体制」について、取組に係る年次評価について協議いたしました。

2つ目として、啓発事業である世界腎臓デー啓発パネル展と、慢性腎臓病住民講演会の実施について協議いたしました。

3つ目として、糖尿病の地域連携に関する現状調査について、実施内容について協議いたしました。

次に、資料21ページをご覧ください。

難病対策小委員会について、令和3年度は、1回開催しております。

協議内容について、資料22ページをご覧ください。

検討事項の1つ目として、指定難病等の支給認定事務等について、各道立保健所が所管していた当該事務を令和4年4月1日から、本庁に集約することについて報告がありました。

2つ目として、北海道が独自に実施している医療費助成事業について、制度の見直しを検討するための調査内容等について報告がありました。

3つ目として、移行期医療支援体制整備事業について、事業の拠点となる移行期医療支援センターの運営の方向性等について協議いたしました。

なお、「介護老人保健施設整備検討委員会」については、令和3年度の開催実績はありませんでした。

以上で、地域保健専門委員会及び各小委員会等における検討状況の報告を終わります。

(松家会長)

ありがとうございました。

ただ今の、各専門委員会からのご報告に対しまして、何かご質問等はございませんでしょうか。

《質疑等なし》

それでは報告事項はこれまでとします。

次に5の協議事項に入ります。

まず、(1)の「専門委員会委員の指名について」でございますが、協議会設置要綱第7条2項

の規定により、専門委員会の委員は、会長が指名することとなっております。

新たに委員となられました2名の委員につきましては、資料2「各専門委員会委員名簿」のとおり、前任の委員が所属しておられました専門委員会を引き継いで、上田委員には、地域保健専門委員会、奥村委員には、救急医療専門委員会といたしたいと存じます。

このことに対し、何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。

《質疑等なし》

それでは、このように決定いたしますので、よろしく願いいたします。

次に、(2)の「令和4年度(2022年度)各専門委員会協議予定(案)」について事務局から一括して説明をお願いいたします。

(総務課 竹内政策調整担当課長)

それでは、資料3「令和4年度(2022年度)各専門委員会協議予定(案)」につきまして、概要を一括してご説明申し上げます。

まず、1ページ目をご覧ください。

救急医療専門委員会についてであります。令和2年度に見直しを行いました北海道医療計画の推進状況及び評価のほか、救急医療体制ですとか災害医療体制の整備について、ご協議いただきたいと考えております。

また、資料下段になりますが、救急告示医療機関審査小委員会では、救急病院等の認定審査、救急医療情報システム検討ワーキンググループでは、北海道救急医療・広域災害情報システムの運営について、ご協議いただきたいと考えております。

2ページ目をご覧ください。

地域医療専門委員会についてでございますが、地域医療構想の地域における検討状況ですとか、地域医療介護総合確保基金(医療分)に係ります今年度の計画のほか、北海道医療計画の評価、紹介受診重点医療機関について、引き続き、ご協議いただきたいと考えております。

また、資料の中段以降となりますが、看護対策小委員会では、道立江差高等看護学院を巡る諸問題への対応ですとか、看護職員の確保対策、周産期・小児医療検討委員会では、周産期・小児医療の現状と取組や、北海道医療計画の進捗、医療施設整備等検討委員会では、医療提供体制施設整備交付金等によります、令和3年度に実施した事業の事後的評価や、今年度におけます当該交付金の配分方法や来年度の整備計画、在宅医療小委員会では、北海道における在宅医療の現状と取組等について、ご協議いただきたいと考えております。

3ページ目をご覧ください。

地域保健専門委員会についてであります。がん診療体制の整備、北海道医療計画の推進状況及び評価等のほか、仮称ではありますが、「アレルギー疾患対策小委員会」の新規設置について、ご協議いただきたいと考えております。

また、資料の中段以降となりますが、循環器疾患対策小委員会では、脳卒中や急性心筋梗塞等における医療連携の推進や、循環器病対策基本法を踏まえた循環器病対策の推進、糖尿病対策小委員会では、糖尿病における医療連携の推進や、慢性腎臓病対策の取組、介護老人保健施設整備検討委員会では、今年度及び来年度の介護老人保健施設の整備計画、難病対策小委員会では、難病患者

者・慢性疾病児童等への支援などについてご協議いただきたいと考えております。

なお、これらの各専門委員会や各種小委員会・ワーキング等におけます、協議事項等の詳細につきましては、この総会の後に、引き続き、開催します各専門委員会において、ご説明申し上げますので、よろしくお願いいたします。

私からの説明は、以上となります。

(松家会長)

何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。

《質疑等なし》

それでは本協議事項について了承することにいたします。

それでは、各専門委員会の委員の皆様には、どれも大切な事項でありますことから、各専門委員会で実りある議論が行われますよう、よろしくお願いいたします。

最後に、6の「その他」ですが、何かございませんでしょうか。

このあと引き続き、各専門委員会を開催いたしますので、事務局から会場等のご連絡をお願いいたします。

(総務課 竹内政策調整担当課長)

この後の会場になりますが、地域医療専門委員会は、本会場で開催いたしますので、委員の方は、このままこの場所にお残りください。

救急医療専門委員会は、「ホール5 G」で、地域保健専門委員会は、「カンファレンスルーム5 J」で開催いたします。

会場にお越しの委員におかれましては、関係課職員がご案内いたしますので、それぞれの会場に移動していただきたく存じます。

本会場につきましては、設営の間、若干お時間いただきますので、地域医療専門委員会の委員の皆様には、事務局側の席にてご着席いただきまして、お待ちいただければと思います。

また、WEBからご参加されている皆様におかれましては、事務局側の操作によりまして、各専門委員会ごとに振り分けを行いますので、Zoomはそのままで本ルームから退出せずしばらくお待ちください。

以上でございます。

(松家会長)

それでは、これをもちまして本日の協議会を終了いたします。

ありがとうございました。